

タイの工場アパート完成

大田区産業振興協会 中小進出を支援

まず南武が操業

【バンコク26日＝奥田耕士】東京都大田区の中製造業のタイ進出を支援する工場アパート「オオテクノパーク（O.T.P.）」がバンコク郊外のアマタナコン工業団地（チョンブリ県）内に完成、両国の関係者が集まり開所式を開いた。大田区産業振興協会の協力でタイのアマタコーポレー

ションが開発し、まず8区画中3区画を契約した特殊油圧シリンダーの南武が操業を始めた（写真）。

このほか金型製作・プ

レス加工の西居製作所など8社が仮契約しており、アマタでは第2棟の建設も決めた。近く着工し年内に完成する。

O.T.P.は敷地面積約7800平方呎。完成した第1棟は工場を320平方呎ずつ8区画に分け中小企業でも借りやすくした。第2棟も同じ設計で敷地内に隣接して建設する。仮契約企業には現地の日系大手メーカー向けに高品質な部品の納入を目指す中小企業が多く、安い人件費を生かした部品を日本向けに輸出する計画は少ないという。

大田区産業振興協会とアマタ社では、年内に数社が立地の認可を受け操業するとみている。

第1棟に入居した南武は金型用中子抜き油圧

シリンダー大手で、すでに保有していたタイ工場を移転し床面積を3倍に広げた。現地向けの完成品と日本の本社工場向け部品生産を行う。西居製

作所はストロボ用反射板などの精密プレス加工が得意で、現地の日系企業向け生産拠点としてO.T.P.への入居を検討している。

